

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.51

平成28年度 全小・中学校PTA母親代表研修会

「親ならわかれよ！」

「問題行動は子どもからのSOS」

福岡県警察本部生活安全部少年課

北九州少年サポートセンター統括係長

少年育成指導官 安永智美氏



講師の安永智美氏は12年間福岡県警察官として勤務

した後、少年育成指導官に転身し、現在は北九州市少年サポートセンター統括係長を務めておられます。様々な難題に真正面から取り組みその姿は、問題を抱えた若者たちから、サポレンジャーの『レッド隊長』として親しまれています。

演題は、日頃の子育てに悩みを抱える私たち、とりわけ思春期の子どもたちを持つ親にとっては、とてもインパクトの強いタイトルです。安永氏は子育てを「愛情の水やり」に例えて私たちに訴えます。「水やりをしなれば草木は枯れてしまう。逆に水のやり過ぎは根腐れを起こしてしまう。すなわち、過干渉・過保護では根腐れしてしまう。子どもの夢を応援するやり方を間違えてはいけません」と。

彼女の取り組んだ事例を、ほんの一部ですがご紹介いたします。

○父親から性的虐待を受けていた中学2年女子。彼女の「避難場所」はシンナー仲間のたまり場であった。問題が発覚した後もなお、「お父さんを捕まえないで」と願う娘。
○成績が抜群で、誰がみても将来が約束されたかに見えた中3男子。息子に過度な期待を寄せる親が、たった一度の試験の失敗をとがめためたために、今まで「いい子」を演じていた息子は豹変し、薬物乱用から逃れられなくなってしまった。
○「今の自分」の心を描いてごらんなさいと、渡された画用紙には、人を殺めるイラストばかりを描いた少年。なにがそうさせたのだろうか。○いじめにより自らの命を絶つた息子にあって母のメッセージ。「あなたが苦しんでいることを」気付いてやれなかった「息子が『親ならわかれよ！』と叫んでいるようにみえた」と自分を責める母。
そして同時に息子をいじめた加害者にも訴える。「どうか気付いてください。あなたが死んだら悲しむ人がいるのです」と。
どの事例も、家庭が子どもにとって安らげる場所であり、なんでも包み隠さず話せる親子関係が築けてい



たならば、未然に防げたことかもしれない。そして同時に、「親ならわかれよ！」と子どもが心の中で叫んでいるのだと安永氏は訴えます。彼女が体当たりで取り組んだ、暴力、自傷行為、盗み、売春、そして薬物などに手を染めてしまった若者たちの問題行動の「根っこ」には、不安や怒り、寂しさや悲しさがあると言います。私たちは、それらの問題行動から発せられるSOSを見逃さず、見守っていかねばなりません。

最後に安永氏は、次に掲げる「大切なお守り」を胸にしまっておいてくださいと訴え、講演の締めくくりとされました。

四つの柱

- 「聴く⇨共感」
- 「褒める⇨笑顔」
- 「叱る⇨教える」
- 「伝える⇨感謝」ありがとう！

私自身も、我が子が自分自身を大切に、自尊感情を育てられるような温かい家庭を築き上げていきたいと、決意を新たにしたり一日でした。「生まれてきてありがとう！」すべてのご家庭において、毎日が笑顔で過ごすことができますように！

(広島県P連副会長 大場 由美子)

平成29年度
広島県全小・中学校PTA
母親代表研修会

平成29年12月2日(土)
ホテル広島カーデンパレス

全小・中学校母親代表研修会 分科会報告ほか

小・中学校別にそれぞれが十分科会に分かれ、さらに小グループになり、講演についての意見交換やPTA活動についての交流を行いました。

どのグループでも活発な意見交換となり、講師の先生が同席されてからはさらに盛り上がりました。しかし、時間が限られていたため、全グループを回っていただくことができませんでした。こうした場合、「分科会の時間を長くしてほしい」「あらかじめ各グループからの質疑を聞いて、講師から回答してもらおう方式にしてほしかった」などの意見がありました。ここでは講演や分科会のアンケート結果を紙面の許す範囲で紹介させていただきます。

講演会・分科会アンケート紹介

□分科会のグループ内の情報交換では、いろいろなお母さんのお話を聞くことができ、我が家だけではないんだなという思いに救われました。

また、はじめの問題について掘り下げることでできたし、ほかのお母さんからラインや友人の関わり方などが聞けて良かった。□「子どものために、子どもを犠牲性にして足を運んだ」と思っていました。講演中、早く子どもに会いたいという気持ちになりました。講演を聴かなければ間違った対応をしていたかもしれない。子どものためというより、自分のためになったと思います。今、子どもと離れている時間を埋められるほどのお守りを手に入れ



た気がします。「親ならわかれよ！」わからないことだらけですね。分かろうとする気持ちを忘れないようにしたいです。□今朝、子どもを叱って出てきて悪かったと反省しました。帰って言いませぬ。「怒ってごめんね。いつも頑張っているね。ありがとう」怒るのではなく、子どもを支える言葉はもつとあると思いました。□すごく感動しました。笑顔で接していると思っても、たまに子どもから「なんでいつも怒っているの？」と聞かれることがあります。自分では怒っているつもりはないのですが、そう感じさせていることに反省です。しっかり聞いてあげること、心がけていきたいと思えます。今後、私たちは子どもたちの声に耳を傾け、今日学んだことを実践し、子どもたちが幸せになれるよう努力していきたいと思えます。

(広島県P連理事 筒井美智子)

同日開催された三行詩 表彰式



（広島県P連会計 上野博士）

昨年の11月12日、鳥取県において、中国ブロック研究大会が開催されました。会場のとりぎん文化会館は、県庁や県警本部などがある県の中心部にある素晴らしい施設でした。

この大会は、「みんな輝け☆つながれ未来！」心のふるさと育てよう」をスローガンに、各地より約2000人が集まり、多くの学びを得ることができました。

開会式に続いて3校の実践発表がありました。県内初の50メートルプールがある八頭町立準小学校の水泳を通しての教育や、地域との関わりが紹介されました。

鳥取市立東中学校では、教育振興会の取り組み「釣った魚を1000匹与えるより魚の釣り方を教えよう」と、社会人になってから困らないように生きる術を人生の先輩として教えようという取り組みがなされていました。

記念講演は、ラジオDJ、NHKのEテレで「レモンさん」としておなじみの山本シェウ氏。同氏のお話しは、小学校のPTA会長を務められ経験をもとに、PTAに対する熱い思いや、子どもと向き合う真剣な姿が伝わってきて、また聞きたいという声が多く聞かれました。

砂とラクダをイメージした大会のマークがデザインされた紙袋をもって会場を後にしながら、多くの仲間がいることを実感し、明日からのPTA活動への力が湧いてきた大会でした。

第46回 日本PTA中国ブロック研究大会 へつとつり大会



山本シェウさんの講演は、昭和時代を育った親世代が感じている、平成の子どもたちとの考え方の違いを分かり易く例を挙げて説明していて非常に良かったです。

コミュニケーションの3つのステップなどは、親が陥りやすい例だったと思います。自分も気を付けようと思いました。その他にも、子どもの自立の4ステップや愛の言葉を掛け続けようなど、どの話も身近な例であり、すぐに実践できそうなことばかりで非常に共感できました。また、自分の今までの行動が間違っていたことを痛感した一日でもありません。少しでも子どもたちのことを理解して、自分の行動を変えていきたいと思いました。

(広島県P連理事 溝畑孝)



広島県教育委員会と 意見交換会の開催

広島県PTA連合会と広島県教育委員会との意見交換会は、昨年11月30日、県教育委員会教育長室において開催されました。

本会には、県教委から下崎教育長をはじめ12名、県P連からは、山田会長ほか6名が参加しました。

- 一 教職員の資質向上
- 二 教職員の適正配置
- 三 人事異動の活性化
- 四 児童・生徒をいじめ、ネット被害やトラブルから守る全県的な取り組み
- 五 広島県PTA連合会に対する補助金

このほか、フリートークとして意見交換された主な内容は、次のとおりです。

- ・県立中高一貫校の入試科目は3教科であるが、「考える力」を大切にしたい。
- ・公立学校の部活動において、必要以上に保護者の金銭的負担が増えることのないようにしてほしい。また、休養日の確保にも努めてほしい。
- ・全国レベル・世界レベルの子どもたちを育成するためにも、補助があるとありがたい。

意見交換会まとめの送付

回答概要のまとめ案について、1月の理事会において承認いただきましたので、各郡市P連事務局にお送りしました。まとめの活用方法や次年度以降の作成のあり方などについてご意見をください。

(県P連教育研修委員会)

雑感

アウトメディア チャレンジ

電子メディアから離れ、家族みんなでふれあうことを目的とした「アウトメディアチャレンジ」。日頃どれだけ情報機器に依存しているのかを悟ると同時に、もはや電子メディアから離れた生活ができないのであれば、私たちはどのようにそれらと共存していくかを考える時期に来ていると痛感しました。

昨夏、高校の同窓会があり、何十年ぶりかで旧友との再会を楽しみました。同級生同士のご夫婦に結婚のきっかけを聞いたところ、男性の方が大学3年生になった時に、高校3年間ずっと温めてきた想いを電話で告げ、遠距離恋愛のため文通を続けてめでたくゴールインしたとのことでした。

今のネット社会においては、かつて流行した「ダイヤル回して手を止めた」という歌詞に込められた気持ちや、郵便配達が待ち遠しい「ドキドキ感」は経験できないのではないのでしょうか。電話や手紙が気持ちを伝える手段であった頃は、不便ではあつたけれど、「情緒」というものが存在していました。そのような、えも言えぬ感動に代わる「何か」をネット社会の中に見出すことができない寂しさを感じつつ、それでも私たちは未来を担う子どもたちを導いて行かねばならないと感じています。



今後も継続して「ネットモラル」啓発活動に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(広島県P連副会長 大場 由美子)

楽しむ読書 役立つ読書

ご存じですか？ 図書館の使えるサービス

この県P連だよりも最近話題になっている「アウトメディア」ですが、11月の「アウトメディアチャレンジ」はどのように過ごされましたか？ 県内には全ての市町に公立図書館（同種施設を含む）があるので、「親子で図書館へ行きましよ」というご家庭もあるのではないのでしょうか。

私も近所の図書館をよく利用します。しかし、雑誌や新聞をバラバラめくり、自分と子供が好きな本を借りて帰るだけだったので、実は図書館に関わる仕事をするまでは知らなかった図書館サービスがいくつもありました。今回はそのうちの一つをご紹介します。



レファレンスサービス

「何それ？」という声が聞こえてきそうですが、要するに利用者が分からないこと・知りたいことについて、図書館司書が図書館にある資料などを調べて「情報」を提供してくれるサービスのことで、どの図書館でも実施しています。図書館によっては、「参考業務」「参考調査」とも呼ばれます。

例えば「子供の頃に読んで、内容はうっすら覚えているけどタイトルが思い出せ

ないあの本を探したい」「古タイヤの活用方法が知りたい」といった利用者の探しものや調べものを手伝ってくれます。

インターネット技術の発達のおかげで誰でも簡単に情報を手に入れることができるようになりましたが、一方で、誰でも簡単に情報を発信することもできるため、インターネット上の情報は玉石混交であると言わざるを得ません。

図書館のレファレンスサービスがインターネット検索や匿名掲示板と異なる点は、図書館司書が利用者からの相談を受けて図書館の資料などを駆使して調べ、出典が明らかな情報を提供してくれるということです。

何か困ったときや調べたいときに、身近な図書館で、調べ物の専門家である「司書」によるプロフェッショナルなサービスが無料で受けられるなんてすごいと思いませんか？

(広島県教育委員会生涯学習課 昇耕司)



**第47回日本PTA中国ブロック研究大会
広島県ふくやま大会の概要**

期日 平成29年11月11日(土)
会場 福山市緑町公園屋内競技場
ローズアリーナ 福山市緑町2-2

- 主催 中国ブロックPTA協議会・広島県PTA連合会
- 主管 福山市PTA連合会
- 内容
 - 記念講演
講師 明治大学文学部 教授 齋藤 孝(たかし)
演題 「人間関係をつくるコミュニケーション力」
 - パネルディスカッション
テーマ 「心がつながるコミュニケーション」
コーディネーター 福山市立大学教育学部 児童教育学科 教授 正保 正恵



パネラー
喜田 紘平さん 学校法人喜田学園 東林館高等学校理事長
霞小PTA副会長
渡辺 敏恵さん フリーパーソナリティー 加茂中学校PTA会員
崎谷 俊明さん キャッチボールカンパニー代表
神辺東中PTA副会長

※福山市教育委員会から検討中

- アトラクション
 - ①ウェルカムアトラクション(10~15分)
福山市立鞆小学校 琴クラブ 琴の演奏
 - ②アトラクション(30分)
折重由美子&なつほの
幻の楽器クラピオーラの澄んだ音色と、透き通った歌声のコラボ



<参考> Yumiko Orishige official web site
<http://www.orishigeyumiko.com/>
なつほの(柿原奈津美・穂乃佳)official website
<http://www.natsuhono.com/>

**充実の補償で
お子様を
サポートします**

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動など、
校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



**団体割引適用で
割安な保険料!**

団体割引25%
損害率による割引30%適用
スクールメディカルデスク24でお子様
の健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
- 育英費用等

**充実の補償でお子様をサポートします。
広島県PTA連合会
小・中学生総合保障制度**



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベトナムームです。
この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
平成28年6月作成 募文No16-T14549

引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194



パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

福山市	山県郡	江田島市	福山市	廿日市市	大竹市	郡市P連名
福山市立旭丘小学校PTA	山県郡PTA連合会	古居俊彦	建内博行	向井恵美	小川剛司	被表彰個人・団体名

**公益社団法人日本PTA
全国協議会 会長表彰**

呉市	東広島市	郡市P連名
呉市立郷原小学校PTA	東広島市立三津小学校PTA	被表彰団体名

優良PTA文部科学大臣表彰

日本PTA年次表彰式
日時 平成二十八年十一月十八日
場所 ホテルニューオータニ



受賞された個人及び団体関係者のみなさん



(公社)日本PTA全国協議会
寺本 允会長